

お知らせ

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。その中で今回示します以下の研究は、日本ブレインバンクから取得された死後脳を用いた研究になります。

この研究の内容を詳しく知りたい方は、以下の【お問い合わせ先】までご連絡下さい。

【研究課題名】

アミロイド β 、タウ病理所見の進展により分類されたヒトアルツハイマー型認知症患者死後脳の分子細胞生物学的変化

【研究機関】 愛媛大学医学部附属病院

【研究機関の長】 杉山 隆（病院長）

【研究責任者】 吉野祐太（精神科 特任講師）

【研究の目的】

今回、我々はアミロイド β 、リン酸化タウの蓄積・進展を基準に分類されたそれらの病理学的変化を伴わない群、いずれかの病理学的変化を伴う群、アルツハイマー型認知症群を日本ブレインバンクから取得し、病理学的な診断に基づく分子細胞生物学的な変化を明らかにすることを研究の目的としています。

【研究の方法】

JBBNに登録された死後脳サンプルのうち、Thal分類（アミロイド β 蓄積を反映）、Braak stage（タウ蛋白の進展を反映）によって病理学的に分類されたヒト死後脳海馬を対象とする。JBBNは献脳生前システムを導入しており、お亡くなりになるご本人の意思を尊重し、登録同意を生前に取得し検体を提供頂いている。

【共同研究について】

この研究は、他の施設からサンプルを提供頂く形で行います。
対象となるサンプルのデータ/試料は、故人に対して、病理解剖番号が割り当てられ、ブレインバンク内でも登録者の氏名を扱わないようにされます。試料を

提供する際には、さらに別の提供用の番号を、病理解剖番号に対応させるため、試料をうけとる研究者は個人を特定することはできません。多くの情報を解析することで、医学・医療の発展に役立つ成果が得られることが期待されます。

【個人情報の取り扱い】

収集した試料・情報は名前、住所など患者さんを直接特定できる情報を除いて匿名化いたします。個人を特定できるような情報が外に漏れることはありません。また、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。

＜試料・情報の管理責任者＞ 国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター 病院臨床検査部科 氏名 高尾昌樹

さらに詳しい本研究の内容をお知りになりたい場合は、【お問い合わせ先】までご連絡ください。他の患者さんの個人情報の保護、および、知的財産の保護等に支障がない範囲でお答えいたします。

【お問い合わせ先】

愛媛大学医学部附属病院・精神科 吉野祐太
791-0295 愛媛県東温市志津川
Tel: 089-960-5315